

標準委員会 第41回リスク専門部会議事録

1. 日 時 2017年02月22日（水）13:30～16:55
 2. 場 所 5 東洋海事ビル D 会議室
 3. 出席者（敬称略）
 - （出席委員）山口部会長，成宮幹事，青木，阿部，井田，喜多，北村，桐本，倉本，栗坂，鈴木，曾根田，高橋，武部，中田，丸山，村田，吉田（18名）
 - （委員候補）松本 和之（中部電力）（1名）
 - （欠席委員）糸井，岡本，越塚，高田，山本（5名）
 - （常時参加者）菅谷，鈴木(途中から入室)，野村（3名）
 - （欠席常時参加者）堀田（1名）
 - （説明者）【外的事象PRA分科会】桐本幹事，【レベル1PRA分科会】桐本副主査，橋本幹事，【レベル3PRA分科会】成宮幹事，野村常時参加者，【核燃料施設リスク評価分科会】吉田主査，眞部幹事，高橋常時参加者，【リスク専門部会】成宮幹事，倉本委員（延べ10名）
 - （事務局）中越，谷井（2名）
 4. 配付資料
 - RKTC41-0 第41回リスク専門部会 議事次第
 - RKTC41-1 第40回リスク専門部会 議事録（案）
 - RKTC41-2 人事について
 - RKTC41-3-1 “原子力発電所に対する津波を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：201X”改定案に関する公衆審査結果について
 - RKTC41-3-2 “原子力発電所に対する津波を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：201X”改定案の誤記チェックの状況について
 - RKTC41-4 “原子力発電所の確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル3PRA編）：2016”の転載許諾手続き等における修正
 - RKTC41-5 “原子力発電所の停止状態を対象とした確率論的リスク評価に係る実施基準（レベル1PRA編）：201X”定例改定に関するリスク専門部会報告
 - RKTC41-6 標準委員会の標準策定5カ年計画
 - RKTC41-7-1 “核燃料施設に対するリスク評価に関する実施基準:201*”のリスク専門部会決議投票結果
 - RKTC41-7-2 “核燃料施設に対するリスク評価に関する実施基準:201*”のリスク専門部会決議投票で受け付けた意見への対応表
 - RKTC41-8-1 PRA 標準の階層化について
 - RKTC41-8-2 春の年会企画セッション予稿
 - RKTC41-9 ASRAM2017 の開催について
 - RKTC41-10-1 第2回JIWG 配布資料
 - RKTC41-10-2 JCNRM(2017.2)配布資料（JIWG 関連抜粋）
 - RKTC41-11 分科会・作業会の活動状況について
- 参考資料

RKTC41-参考 1	リスク専門部会委員名簿
RKTC41-参考 2	標準委員会の活動状況
RKTC41-参考 3	第 21 回 PRA 活用検討タスク議事録
RKTC41-参考 4	【添付-1】学協会規格整備計画の見直し案
RKTC41-参考 5	第2回JIWG(日本国際ワーキンググループ)議事録案
RKTC41-参考 6	2017年2月ASME/ANS JCNRM参加報告書

5. 議事内容

議事に先立ち、事務局から開始時点で委員23名中、18名の出席があり、委員会成立に必要な委員数（16名）を満足している旨、報告された。

(1) 前回議事録（案）について（RKTC41-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

(2) 人事について（RKTC41-2）

事務局から RKTC41-2 に基づいて、専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり、委員の退任等が確認され、審議の結果、委員の選任等が決議された。

1) 専門部会

① 委員の退任の確認

Woody Epstein (Curtiss -Wright Co.)

竹山 弘恭（中部電力）

② 委員の選任決議

松本 和之（中部電力）

③ 委員の再任決議

村田 尚之（原子力安全推進協会）

2) 分科会

① 委員退任の確認

【レベル 1 PRA 分科会】

菅原 淳(関西電力)

② 委員選任の承認決議

【レベル 1 PRA 分科会】

田中 裕久(関西電力)

③ 主査選任の承認決議

【核燃料施設リスク評価分科会】

吉田 一雄（日本原子力研究開発機構）

④ 副主査指名の確認

【核燃料施設リスク評価分科会】

糸井 達哉（東京大学）

⑤ 常時参加者の登録解除の確認

【外的事象 PRA 分科会】

菅原 淳(関西電力)

【PRA 品質確保分科会】

田口 美咲（テプコシステムズ）

【レベル 1PRA 分科会】

村田 尚之（原子力安全推進協会）

【レベル 2PRA 分科会】

村田 尚之（原子力安全推進協会）

⑥ 常時参加者の登録承認の確認

【外的事象 PRA 分科会】

鉤 忠志（関西電力）

【PRA 品質確保分科会】

東山 太一（原子力エンジニアリング）

(3) 【報告・審議】“原子力発電所に対する津波を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：201X”改定案の公衆審査結果（RKTC41-3-1, RKTC41-3-2）

事務局から RKTC41-3-1 に基づいて、“原子力発電に対する津波を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：201X”改定案の公衆審査で意見がなかったことが報告された。引き続き、外的事象 PRA 分科会の桐本幹事から RKTC41-3-2 に基づいて、当該改定案の誤記チェック結果及びその結果を反映した当該標準案の対応案について報告があった。審議の結果、誤記チェックを反映した対応案は編集上の修正であること及び当該対応案を標準委員会で報告することが決議された。

主な質疑等は以下のとおり。

C:参照の書き方については統一が取られていればよいのではというコメントであった。

C:説明があったように Z8301 に記載方法の規定がある場合は合わせたほうが良い。バラバラの表記にはなっていないことを確認しているという修正か。

A:Z8301 に従って修正の統一を実施した。ただし、津波 PRA 標準では、参照する箇条の名称を書くということについては、読者の理解のしやすさの点から記載するものとしており、その統一をしている。

Q:誤記チェックの表中に 7.4.4 等で、“誤記チェックの視点”との記載がいくつかあるが、番号があていない箇所がある。特に必要はないので削除してもよいのではないか。

A:拝承。

(4) 【本報告・審議】“原子力発電所の停止状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル 1 PRA 編：201X”改定案のリスク専門部会報告（RKTC41-5）

レベル 1PRA 分科会の桐本副主査、橋本幹事から RKTC41-5 に基づいて、“原子力発電所の停止状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル 1 PRA 編：201X”改定案について本報告があった。審議の結果、当該案でリスク専門部会の決議投票に移行することが決議された。また、低出力時の評価のあり方について、米国の低出力／停止時標準試行版との考え方の違いなどを今後より明確にしていくことなどが議論された。

主な質疑等は以下のとおり。

C:炉心損傷又は燃料損傷の判定条件の規定振りが不明確なので、決議投票と並行して分科会で検討すること。

C:引用文献の附属書(参考)の扱いに関して、附属書(参考)は規定の理解のための参考情報であるため基本的には適用しない方針であり、決議投票においても適宜確認すること。

(5)【報告・審議】“原子力発電所の確率論的リスク評価に関する実施基準(レベル 3PRA 編 : 2016)”の転載許諾手続き等における修正案について (RKTC41-4)

レベル 3PRA 分科会の成宮幹事、野村常時参加者から RKTC41-4 に基づいて、“原子力発電所の確率論的リスク評価に関する実施基準(レベル 3PRA 編 : 2016)”の転載許諾手続きでの指摘事項等を反映した当該標準案の修正案について報告があった。審議の結果、当該修正案は編集上の修正であること及びこの修正案を標準委員会で報告することが決議された。

主な質疑等は以下のとおり。

C:附属書 C の参考文献(3)の冒頭の標記は、他と同様に USNRC と略称標記する方がよいのではないか。

A:拝承。同様の箇所がないか確認し、もし同様の箇所があれば併せて修正する。

(6)【報告・審議】標準委員会の標準策定 5 カ年計画の更新について (RKTC41-6)

リスク専門部会の成宮幹事から RKTC41-6 に基づいて、標準委員会の標準策定 5 カ年計画の更新について報告があった。審議の結果、当該案を標準委員会で報告することが決議された。

(7)【報告・審議】“核燃料施設に対するリスク評価に関する実施基準:201*”のリスク専門部会決議投票結果及び受付けた意見対応について (RKTC41-7-1, RKTC41-7-2)

事務局から RKTC41-7-1 に基づいて、“核燃料施設に対するリスク評価に関する実施基準:201*”のリスク専門部会決議投票で当該標準案が可決されたことが報告された。引き続いて、核燃料施設リスク評価分科会の吉田主査、眞部幹事、高橋常時参加者から RKTC41-7-2 に基づいて、決議投票で受付けた意見への対応案について報告があった。対応案は、意見を提出した各委員により了承された。審議の結果、当該対応案は編集上の修正であること及びこの対応案を反映した実施基準案で標準委員会に本報告することが決議された。

(8)【報告】PRA 標準の階層化について (RKTC41-8-1, RKTC41-8-2)

リスク専門部会の成宮幹事、倉本委員から RKTC41-8-1 に基づいて、PRA 標準の階層化の方針について報告があり、報告された方針に従いレベル 1PRA 分科会及び外的事象 PRA 分科会に作業指示を出すこととなった。また、RKTC41-8-2 に基づいて、2017 年春の年会の標準委員会セッション予稿について報告があった。

(9)【報告】ASRAM2017 の開催について (RKTC41-9)

リスク専門部会の成宮幹事から RKTC41-9 に基づいて、ASRAM2017 の開催について報告があった。

(10)【報告】第 2 回 JIWG 及び JCNRM(2017.2)の報告について (RKTC41-10-1, RKTC41-10-2)

リスク専門部会の成宮幹事から RKTC41-10-1, RKTC41-10-2 に基づいて第 2 回 JIWG 及び JCNRM(2017.2)について報告があった。

(11)その他

- ・次回のリスク専門部会は、2017年5月30日(火)13:30からの開催となった。

以上